

台風シーズンの頭痛にも五苓散ごれいさん

ある日、女子中学生が言ったそうです、「お母さん、今、台風がきたよ」。その子は、以前から雨の日に頭が痛くなる天気痛があり、五苓散を頓服として使っている患者さんでした。実際、その日の夜には、フイリピン近海で新しい台風が発生したことをニュースが伝えていたそうです。天候の変わり目の気温や気圧の変化によって頭痛が起り、五苓散がそうした痛みに有効であることは以前お話ししました（病院だより第114号参考）。しかし、数千キロ離れた場所の変化が即時にわかるのはどうしてでしょうか。最近その理由が日本の研究者によつて解明されま

した。台風が発生すると、煮立った鍋の中で泡がはじけるように細かな気圧の変化（微変動）が大気中をさざ波のように伝わって日本にも届きます。その変動を耳の奥にある内耳が感知し、痛みを伝える三叉神経に影響を与えるのです。内耳ではリンパ液の流れや圧力の変化により、音や体の傾き、気圧を感じしています。五苓散は、細胞や血管、リンパ管での水分の移動を調節し、頭痛を治していると考えられています。

（小児科部長 池野一秀）

五苓散 これいさん

【効能又は効果】

口渴、尿量減少するものの次の諸症：浮腫、ネフローゼ、二日酔、急性胃腸カタル、下痢、恶心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿病

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの 思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中！

